

## 後期基本計画 平成 3 1 年度 政策方針書

政 策： 05 学びにより充実した人生を送ることができるまち

担当部長職・氏名	教育次長 長嶺 敏彦
----------	------------

1. 政策の実現状況を明らかにする

(1) 計画のビジョン（政策が実現できたときの状態）

	全ての世代が学びによる幸福感を育めるよう、生涯にわたって学びあい、学んだことを生かせるとともに、伝統文化・芸術を次世代に継承し、ふるさとに愛着を持つことで、いきがいとやりがいのある充実した人生を送ることができるまちを目指します。
--	--

(2) 政策目標値の達成状況

No	政策目標指標	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値				目標値	進捗状況
		平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	平成34年度	進捗率(%)
1	暮らし 子どもの教育について、学校、家庭、地域の連携があると感じている人の割合 単位 %	58.4	58.4	58.4	58.4	58.4	58.4	- 0.0
2	幸福 趣味や特技を披露できる機会が地域にある人の割合 単位 %	16.7	18	20	22	25	25	- 0.0
	単位							

(3) 政策を構成する基本施策及び目標値の達成状況

No	基本施策名 基本施策目標指標	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値				目標値	進捗状況
		平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	平成34年度	進捗率(%)
1	暮らし 05010000 生き生きと学習できる教育基盤の充実 学校トイレの環境改善率 単位 %	76.6	80	83	87	90.9	90.9	- 0.0
2	幸福 05010000 生き生きと学習できる教育基盤の充実 子どもが夢中になって取り組めることがあると感じる人の割合 単位 %以上	75.1	75.1	75.1	75.1	75.1	75.1	- 0.0
3	暮らし 05020000 「生きる力」を育てる学校教育の充実 学力テスト（NRT）で全国標準を上回った学校の割合（小学校） 単位 %以上	93.8	93.8	93.8	93.8	93.8	93.8	- 0.0
4	暮らし 05020000 「生きる力」を育てる学校教育の充実 学力テスト（NRT）で全国標準を上回った学校の割合（中学校） 単位 %	58.3	62	66	70	75	75	- 0.0
5	幸福 05020000 「生きる力」を育てる学校教育の充実 子どもが夢中になって取り組めることがあると感じる人の割合 単位 %以上	75.1	75.1	75.1	75.1	75.1	75.1	- 0.0
6	暮らし 05030000 学校給食による望ましい食習慣の実現 学校給食食材生産供給組合からの年間納入量 単位 kg	9,588	9,691	9,794	9,897	10,000	10,000	- 0.0



## 後期基本計画 平成31年度 政策方針書

政 策：05 学びにより充実した人生を送ることができるまち

担当部長職・氏名

教育次長 長嶺 敏彦

## 2. 政策の実現に向けての現状を認識する

## (1) 政策目標の進捗状況分析

学校、家庭、地域が連携・協働して子どもたちを育むことは、みんなで学び、共に育っていくまちづくりにつながるものと考えます。指標である「子どもの教育について、学校、家庭、地域の連携があると感じている人の割合」は、2014年の前期基準値31.7%から2017年には58.4%となっており、2022年目標値の45.0%をすでに超えています。この指標がさらに伸びていくことは、地域が人を育て人が地域をつくる社会の形成につながり、一人一人が人とのつながりや地域とのつながりの中で生きがいとやりがいのある充実した人生を送ることができるものと考えます。

## (2) 政策の実現に影響する社会環境変化

- ・いじめや不登校、発達障がいなどの子どもたちに関する課題が多様化・複雑化しています。
- ・急速な情報化社会の進展に伴い、情報活用能力の育成と情報モラル教育が必要となっています。
- ・学校を取り巻く環境が多様化・複雑化し、学校に求められる役割が拡大する中、教職員の長時間勤務の改善が課題となっています。
- ・各小中学校に地域と連携・協働した学校運営を一層推進するため、学校教育振興協議会が設置されました。
- ・2018年の「市健康づくり宣言」に伴い、市民にその意識啓発や実践をさらに進める必要があります。
- ・2019年のラグビーワールドカップ釜石開催や2020年の東京オリンピック・パラリンピックに向け、スポーツ振興はもとより次代を担う青少年の健全育成や郷土意識を醸成する必要があります。

## 3. 政策の実現に向けての取り組みを決定する

## (1) 政策の達成（実現）に向けた基本計画期間内の取り組みと方針

- ・老朽化した学校施設・体育施設等の改修や適切な維持管理による長寿命化と学習環境の改善に努めます。
- ・新設開校した滝沢中央小学校の円滑な学校運営を支援するとともに、少子化、児童生徒の偏在化を踏まえ中長期的な展望のもとに学校の適正規模の在り方について検討します。
- ・学校ICT化の促進については、児童生徒の教育用コンピュータ更新のほか教職員の校務用コンピュータについても整備に努めます。
- ・学習指導要領改訂への適切な対応と知・徳・体を総合的に兼ね備えた「生きる力」を育てる学校教育を推進します。
- ・地産地消の推進など安全安心で栄養バランスのとれた学校給食を提供するとともに、望ましい食習慣の実現のため食の指導の充実を図り、食育の推進に努めます。
- ・第1次滝沢市生涯学習推進計画後期基本計画「学びプランたきざわ」に基づき、市長部局と教育委員会が連携強化し、市民が生きがいとやりがいを持てる生涯学習・スポーツ環境の構築を推進します。
- ・文化芸術関係団体や郷土芸能保存団体の基盤強化や活動の支援をし、文化芸術の継承に努めます。

## (2) 基本計画内の取り組みと方針のうち、平成31年度の重点課題

- ・老朽化している鵜飼小学校校舎の屋根外壁等の改修並びに市内小中学校の普通教室等に空調設備を整備し、児童生徒の学習環境の改善を図ります。また、開校した滝沢中央小学校の円滑な学校運営を支援します。
- ・学校教育においては、確かな学力を育む教育の推進、豊かな人間性や社会性の育成、健康・安全活動の支援の充実を図ります。
- ・第1次滝沢市生涯学習推進計画後期基本計画「学びプランたきざわ」に基づく、生涯学習推進施策の展開を進めます。
- ・市民の健康づくりへの意識啓発と実践に資するため「チャレンジデー」を開催するとともに、生涯スポーツ・競技スポーツの推進を図ります。

## (3) 基本計画内方針及び平成31年度重点課題に基づく優先順位の考え方

- ・学校施設等の適切な維持管理と学習環境の改善
- ・児童生徒の学力向上と豊かな人間性や社会性の育成
- ・「学びプランたきざわ」による生涯学習推進施策の展開
- ・スポーツによる健康づくりと競技スポーツの推進

